

# けんしゅうしましよ

7号  
R5. 10. 6  
文責 岩井

## 教育研究発表会，おつかれさまでした！

9月22日（金）の教育研究発表会，大変お疲れ様でした。当日は100名以上の方々に授業を見ていただきました。参観者からのアンケートを見ると，肯定的な意見がとても多く，私たちの自信につながる経験になったと思います。さて，10月からは1年の折り返しになります。今まで取り組んできたことを引き続き大切にしながら，研鑽を積んでいきましょう。下に分科会で話し合われた内容を記載しました。ご確認ください。

- ・色を塗る活動や赤青カードを使うことで，児童が本音を語りやすくなった。カードの使い方として，「赤の人は青の気持ちが分かるかな」のような工夫もできそう。
- ・アンケートの活用が効果的だった（子どもの思考やずれから課題にもっていく・現実に返すときに活用する）。
- ・その日学んできたことを納得解の中で自分に返すのがよかった。時間配分的にじっくり考える時間がない様子も見られたので，そこは課題として残る部分である。
- ・考えの視点をもたせて範読させるのがよかった。
- ・自走する子どもたちに寄り添う教師の姿が見られた。子どもたちが安心して発言していたのは学級経営が素晴らしいから。心理的な安定が土台となっている。
- ・写真提示のタイミングとして，納得解の前に散らかった本の写真を見せ，「自分たちはどうだろう。考えてみて」のように活用する方法もあった。



※他にも「自由交流の意図は？」「児童の思考が収束する発問とは？」「中心発問の前に，別の視点で考える発問があるとよかった」のような質問や意見が出されました。

### 國木指導主事・永井主導主事からの助言

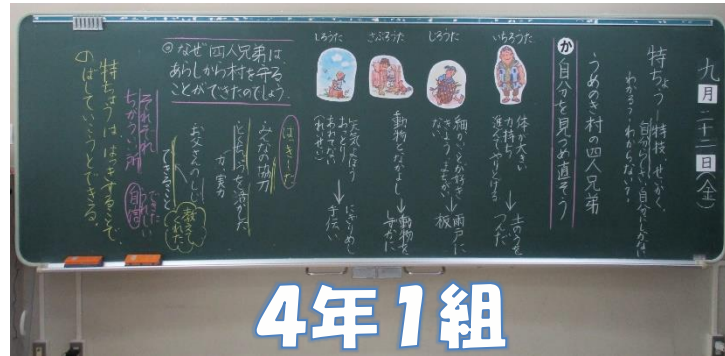


- ・道徳の時間で大事なことは自分事で考えること。そのために大事なこととして，「問題意識をもつこと」「主体的な追求」「多面的多角的な見方で考えること」の3つが挙げられる。
- ・アンケートから問題意識をもたせる取り組みがよかった。
- ・5年生では子どもたちの感想を上段と下段に上手にまとめることで，「違い」を見つけやすくしていた。
- ・子どもたちでは気が付かないような視点を投げかけることで，より追求しようという気持ちが高まっていた。
- ・子どもたちをよく見て把握して次の手を打っていく。
- ・「今日の授業で何を学んだの？」に子どもたちが答えられることが大事。
- ・納得解を導く際には，他者と議論を重ねて多様な価値観に触れることが大事。ペア交流などの多様な関わりや，ICTの効果的・効率的な活用をすることで見えづらい心の可視化へとつなげる。子どもたちもお互いを把握できるような手段として活動できればすごくいい。
- ・道徳的価値を深める対話活動として，心情読解レベルで終わってしまうことがある。道徳的価値レベルの発問を意識してほしい。例「どうしてその嫌だった気持ちに良いと思われる感情が勝ったのだろうか」





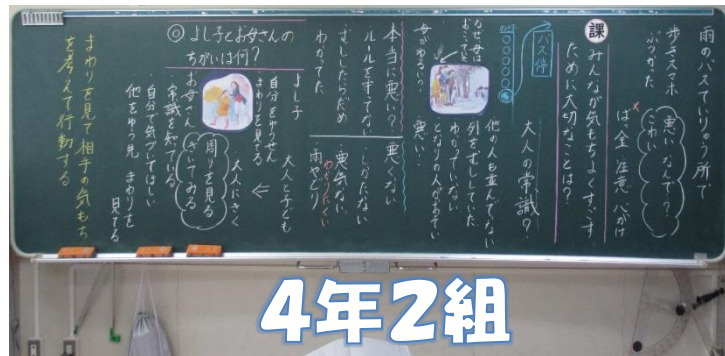
1年1組



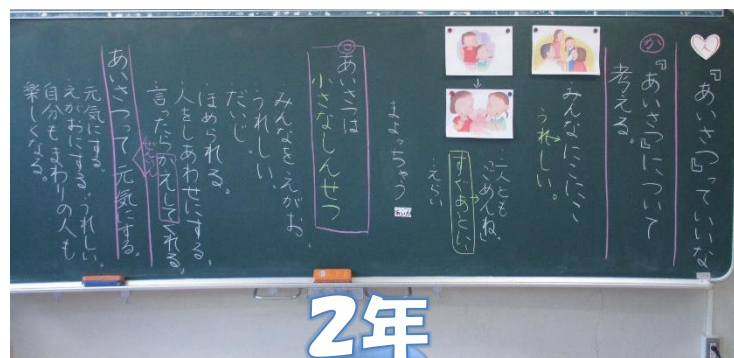
4年1組



1年2組



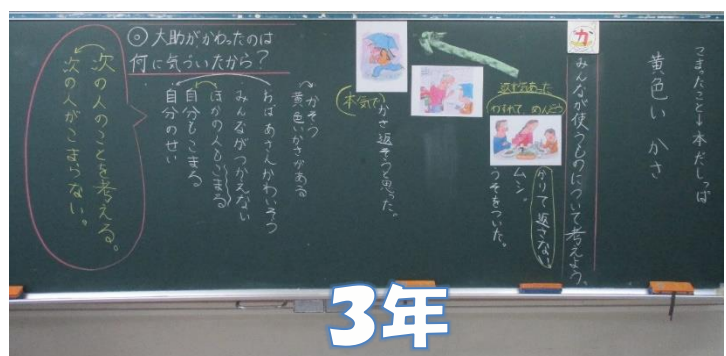
4年2組



2年



5年



3年



6年

- 10月17日(火)～研修会議(後半の研修について説明)
- 10月30日(月)～指導案検討(藤崎 T・横山 T)
- 11月20日(月)～事後研
- 11月27日(月)～指導案検討(高山 T・佐藤 T)
- 12月18日(月)～事後研
- 1月15日(月)～指導案検討(米野 T・齊藤豪 T・阿曾 T) ※4時間授業
- 1月29日(月)～事後研
- 2月 5日(月)～指導案検討(多治見 T)
- 2月19日(月)～事後研 ※指導主事を招へいの予定
- 3月 5日(火)～今年度のまとめと次年度に向けて

今後の予定で、後半もみなさんで検討したり授業を見て学んだりでできればと思います。よろしくお願いいたします。